

# 宮崎県感染症週報

宮崎県感染症情報センター

宮崎県健康増進課

宮崎県衛生環境研究所

## ■ 宮崎県第14週の発生動向

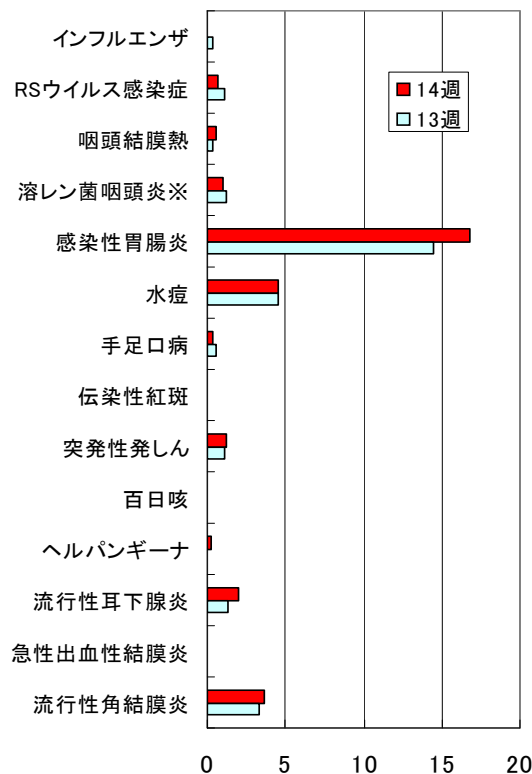
定点医療機関からの報告総数は1,013人(定点あたり31.1)で、前週比109%と増加した。

前週に比べ増加した主な疾患は流行性耳下腺炎と感染性胃腸炎であった。

流行性耳下腺炎の報告数は73人(2.0)で前週比155%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値(1.5)の約1.4倍と多い。日向(7.5)・延岡(7.0)保健所からの報告が多く、警報レベルを超えている。年齢別では3歳から6歳で全体の約6割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は603人(16.8)で前週比115%と増加したが、例年同時期の定点あたり平均値(15.6)の約1.1倍である。小林(32.0)・中央(25.0)・都城(21.5)保健所からの報告が多く、警報レベルを超えている。年齢別では4歳以下で全体の約半数を占めた。

《前週との比較》



《定点あたり報告数》  
※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

## ■ 保健所別流行警報開始基準値超過疾患

	流行警報 開始基準値	定点あたり報告数		年齢分布
		宮崎県全体	基準値を超えた保健所	
感染性胃腸炎	20	16.8	小林(32.0)、中央(25.0)、 都城(21.5)	4歳以下で全体の約半数を占めた。
水痘	7	4.6	日南(8.0)	1歳~4歳で全体の約7割を占めた。
流行性耳下腺炎	6	2	日向(7.5)、延岡(7.0)	3歳~6歳で全体の約6割を占めた。

## ■ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症 : 報告なし。
- 2 類感染症 : 結核 2 例が日南保健所から報告された。
  - ・ 80 歳代の女性で肺結核。咳、痰、発熱がみられた。
  - ・ 80 歳代の男性で肺結核。発熱がみられた。
- 3 類感染症 : 報告なし。
- 4 類感染症 : A 型肝炎 1 例が宮崎市保健所から報告された。60 歳代の女性で全身倦怠感、食欲不振、黄疸、肝機能異常、嘔吐、心窩部痛がみられた。血清 IgM 抗体の検出。
- 5 類感染症 : ○急性脳炎 1 例が宮崎市保健所から報告された。1 歳の男児で発熱、痙攣、意識障害がみられた。  
○梅毒 1 例が宮崎市保健所から報告された。60 歳代の男性で早期顕症梅毒 I 期。硬性下疳、鼠径部リンパ節腫脹がみられた。

## ■ 全国第 13 週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は 14.6 で、前週比 102% とほぼ横ばいであった。前週に比べ増加した主な疾患は水痘と伝染性紅斑であった。

水痘の報告数は 5,685 人 (1.9) で、前週比 111% と増加したが、例年同時期とほぼ同数である。宮崎県 (4.6)、鹿児島県 (3.7)、沖縄県 (3.0) からの報告が多く、年齢別では 1 歳から 5 歳までが全体の約 8 割を占めた。

伝染性紅斑の報告数は 573 人 (0.19) で、前週比 136% と増加したが、例年同時期の約 7 割である。青森県 (0.57)、大分県 (0.53)、神奈川県 (0.52) からの報告が多く、年齢別では 4 歳から 7 歳で全体の約 6 割を占めた。

### □ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症 : 報告なし。
- 2 類感染症 : 結核 268 例
- 3 類感染症 : 細菌性赤痢 4 例、腸管出血性大腸菌感染症 14 例
- 4 類感染症 : A 型肝炎 18 例、日本紅斑熱 1 例、マラリア 1 例、レジオネラ症 6 例
- 5 類感染症 : アメーバ赤痢 4 例、ウイルス性肝炎 4 例、急性脳炎 1 例、クロイツフェルト・ヤコブ病 3 例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 2 例、後天性免疫不全症候群 15 例、ジアルジア症 2 例、梅毒 5 例、破傷風 2 例、風疹 2 例、麻しん 10 例

## ■月報告対象疾患の発生動向 <3月>

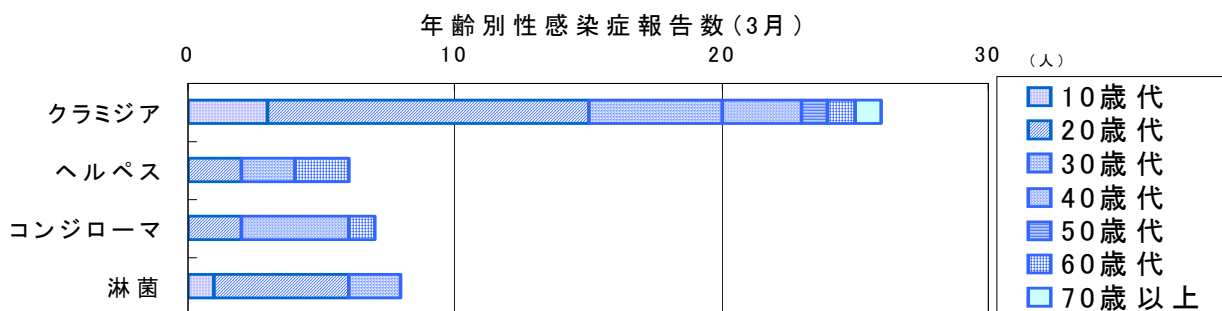
### □性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は47人（3.6）で、前月比92%と減少した。昨年3月（2.0）の約1.8倍と多かった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数26人（2.0）で、前月の約8割、前年の約1.1倍であった。都城・日向（各3.0）、延岡（2.5）、宮崎市（2.3）保健所からの報告が多く、男性16人・女性10人で、20歳代が全体の約半数を占めた。
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数6人（0.46）で、前月と同数、前年の約1.8倍であった。男性2人・女性4人で、20歳代・30歳代・60歳代がそれぞれ2人であった。
- 尖圭コンジローマ：報告数7人（0.54）で、前月の1.4倍、前年の約1.3倍であった。男性5人・女性2人で、20歳代が2人、40歳代が4人、60歳代が1人であった。
- 淋菌感染症：報告数8人（0.62）で、前月と同数、前年の約2.5倍であった。全て男性で、10歳代が1人、20歳代が5人、30歳代が2人であった。



【全国】 定点医療機関総数：961

定点医療機関からの報告総数は4,095人（4.3）で、前月比108%と増加した。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,143人（2.2）で前月比109%、性器ヘルペスウイルス感染症686人（0.71）で前月比106%、尖圭コンジローマ421人（0.44）で前月比105%、淋菌感染症845人（0.88）で前月比109%であった。

### □薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は37人（5.3）で前月比90%と減少した。また昨年3月（7.3）の約7割と少なかった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数27人（3.9）で、前月の約1.4倍、前年の約7割であった。宮崎市（10.0）、日南（7.0）保健所からの報告が多く、70歳以上が全体の約6割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数10人（1.4）で、前月の約半数、前年の約8割であった。宮崎市（8.0）保健所からの報告が多く、10歳未満が全体の約8割を占めた。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告はなかった。

【全国】 定点医療機関総数：463

定点医療機関からの報告総数は2,310人（5.0）で、前月とほぼ同数であった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,842人（4.0）で前月比102%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症440人（0.95）で前月比94%、薬剤耐性緑膿菌感染症28人（0.06）で前月比100%であった。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2010年 第14週(04月05日~04月11日)

疾病名		第13週	第14週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	17	7			1					2	4
	定点あたり	0.29	0.12	0.00	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.33	2.00
RSウイルス 感染症	報告数	39	23	1	2	6	2		11		1	
	定点あたり	1.08	0.64	0.10	0.33	1.50	0.67	0.00	2.75	0.00	0.25	0.00
咽頭結膜熱	報告数	11	20	3		6	5		2		4	
	定点あたり	0.31	0.56	0.30	0.00	1.50	1.67	0.00	0.50	0.00	1.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	44	36	6	3	11	7	1	5		3	
	定点あたり	1.22	1.00	0.60	0.50	2.75	2.33	0.33	1.25	0.00	0.75	0.00
感染性胃腸炎	報告数	523	603	119	129	71	27	96	70	13	53	25
	定点あたり	14.53	16.75	11.90	21.50	17.75	9.00	32.00	17.50	13.00	13.25	25.00
水痘	報告数	164	165	53	28	9	24	14	11		25	1
	定点あたり	4.56	4.58	5.30	4.67	2.25	8.00	4.67	2.75	0.00	6.25	1.00
手足口病	報告数	20	12	8				1	1		2	
	定点あたり	0.56	0.33	0.80	0.00	0.00	0.00	0.33	0.25	0.00	0.50	0.00
伝染性紅斑	報告数	3	1	1								
	定点あたり	0.08	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	39	42	14	6	9	5	3	3		2	
	定点あたり	1.08	1.17	1.40	1.00	2.25	1.67	1.00	0.75	0.00	0.50	0.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	5	8		6	1						1
	定点あたり	0.14	0.22	0.00	1.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
流行性耳下腺炎	報告数	47	73		3	28	1	9	1		30	1
	定点あたり	1.31	2.03	0.00	0.50	7.00	0.33	3.00	0.25	0.00	7.50	1.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	20	22	14	7	1						
	定点あたり	3.33	3.67	4.67	3.50	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数  
下段:定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2010年第1週~14週)

2類感染症	結核	43例(2)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	7例				
4類感染症	つつが虫病	1例	レジオネラ症	1例	A型肝炎	1例(1)
	ウイルス性肝炎	5例	急性脳炎	4例(1)	後天性免疫不全症候群	1例
5類感染症	梅毒	3例(1)	破傷風	2例	麻しん	1例

( )内は今週届出分、再掲

こども感染症情報

**おたふくかぜが増えています。(4月5日~4月11日)**

おたふくかぜの報告が増えています。日向市、延岡市周辺からの報告が多く、警報レベルを超えています。年齢別では3歳から6歳のこども達が多く感染しています。

おたふくかぜにかかると、軽い熱がでて耳の下（耳下腺）やあごの下が腫れます。熱は、耳下腺が腫れる前からでて、腫れがピークになるころまで続きます。高熱や頭痛、嘔吐などの症状があるときは重い合併症も考えられますので、すぐに診察をしてもらいましょう。

人にうつりやすい時期は、腫れが出る2~3日前から発症後1週間ほどです。その間は、外出を控え、ほおを冷やすなどして家で静かに過ごしましょう。

予防接種は1歳から受けることができますが、任意ですので費用がかかります。症状の出る前から人にうつることもあるので、家族の方がかかったあとにワクチンを接種しても防ぐことができません。接種時期などかかりつけの医療機関にご相談ください。

嘔吐下痢症は小林市、国富町、都城市周辺からの報告が多く、警報レベルを超えています。4歳以下のこども達が多く感染しています。トイレの後、食事の前には必ず石けんで手を洗い感染予防に努めましょう。